

## ばい煙濃度等報告書 記入要領

本報告書は、ばい煙発生施設ごとに提出していただくものです。対象施設が複数となっている場合は、報告書をコピーし、施設ごとに記入してください。(両面コピーでなくても構いません。)今回の貴事業所の報告対象施設数は、封筒に添付したラベル(p.5 図 1)に記入しています。施設が報告対象であるかの確認はフロー(p.5 図 2)で行ってください。

### A 届出者

法人にあっては、代表者です。法人名、代表者名を記入してください。

### B 事業所番号

封筒に添付したラベルに記載されている事業所番号を記入してください。

### C 施設番号

大気汚染防止法の届出書の写しに記載されている施設番号を記入してください。不明の場合は空欄で構いません。

### D 事業所名

事業所名を記入してください。

### E 施設名

ボイラー等のばい煙発生施設名称を記入してください。施設が複数ある場合は、区別の付くように機種名や型番等記入してください。

### F 記入者

内容について照会をすることもありますので、本報告書を記入した方の名前を記入してください。

### G 所属

記入者の所属を記入してください。届出者と会社が異なる場合は、会社名も記入してください。

### H 電話番号

記入者に内容の確認をする場合がありますので、記入者の電話番号を記入してください。

#### (1) 燃料

使用している燃料を記入してください。

## (2) 継続休止期間

施設の使用に関して、継続して休止している期間で該当しているものを☑もしくは にしてください。休止しない施設は、「6ヶ月未満」としてください。

対象期間内に継続休止期間が「6ヶ月以上」と「6ヶ月未満」が混在している場合は、(5) 備考にそのことを記入してください。

## (3) 測定結果

定期的に測定しているばい煙の濃度等を記入してください。(3)-1で足りない場合は(3)-2にも記入してください。

記入例を参考にして、測定した年月日と測定値を記入してください。測定値は換算値を記入してください。その際、計量証明書や成績書の単位が、報告書の単位(硫黄酸化物  $\text{m}^3/\text{h}$ 、窒素酸化物 ppm、ばいじん  $\text{g}/\text{m}^3\text{N}$ )と異なった場合には、計算後記入してください。

下の部分には、計量証明書・成績書の発行日、分析を実施した機関(成績書を発行した機関)名、計量証明書等の番号を記入してください。

法で求められた測定回数に足りない場合は、足りなかった理由や今後の測定計画等を(5) 備考に記入してください。また、基準超過があった場合も、その時行った処置、対策等を(5) 備考に記入してください。

なお、平成17年1月1日～平成19年12月31日が対象期間なので、それ以外の結果は記入しないでください。

## (4) 液体燃料硫黄分

使用している燃料が液体の場合、対象期間内の燃料中の硫黄分の最大値を記入してください。

なお、冬期間に硫黄分の規制が厳しくなる区域内にあり、燃料を季節ごとに替えている施設では、その期間とその時の硫黄分の最大値を(5) 備考に記入してください。

## (5) 備考

(2)(3)(4)で要求している以外で、特記すべき事項について記入してください。

### 注意点

- ・ 計量証明書・成績書及びその写しは、添付の必要がありません。ただし、本報告書の提出後、札幌市が立入検査で証明書等を確認することがあります。
- ・ 欄は、記入しないでください。

記入例

ばい煙濃度等報告書

A 届出者	株式会社 代表取締役社長 ×
-------	-------------------

B 事業所番号	5 4 3 2	C 施設番号	1
---------	---------	--------	---

D 事業所名	工場
--------	----

E 施設名	ボイラー( 社製 AAA-5000)
-------	--------------------

報告対象施設が「1」つの場合は、簡単に記入して構いません

F 記入者	
G 所属	施設課
H 電話番号	211-2882

本報告書について、確認させていただくこともありますので、記入者名をお書きください

(1) 燃料

重油
----

(2) 継続休止期間

6ヶ月以上	6ヶ月未満
-------	-------

(3) -1 測定結果

	1		2		日
	測定年月日		測定年月日		
	測定値	測定値	測定値	測定値	
硫黄酸化物	H17.2.1	H17.8.10	H18.8.25	H19.2.10	
m <sup>3</sup> /h	0.11	0.15	0.18	0.13	
窒素酸化物	H17.2.1	H17.8.10	H18.8.25	H19.2.10	
ppm	210	350	260	220	
ばいじん	H17.2.1	H17.8.10	H18.8.25	H19.2.10	
g/m <sup>3</sup> N	0.05	0.07	0.08	0.05	
発行日	H17.2.15	H17.8.24	H18.9.3	H19.2.20	
分析機関	××社	××社	××社	××社	
証明書番号	H170101	H170308	H180322	H190129	

例えば、9月から4月まで休止している施設は、「6ヶ月以上」となります。

(3) 2 測定結果

	5	6	7	8
	測定年月日	測定年月日	測定年月日	測定年月日
	測定値	測定値	測定値	測定値
硫黄酸化物	H19.8.29			
m <sup>3</sup> /h	0.05			
窒素酸化物	H19.8.29			
ppm	190			
ばいじん	H19.8.29			
g/m <sup>3</sup> N	0.10			
発行日	H19.9.12			
分析機関	× × 社			
証明書番号	H190587			

測定結果は換算値を  
記入してください。  
単位に注意して記入  
してください

(4) 液体燃料硫黄分

0.6 %

燃料がガ  
スの場合  
は、記入不  
要です

必要測定回数に足りない場合、  
理由を記入してください

(5) 備考

H18年の冬期の測定は、担当者の引継ぎが徹底されていなかったため実施して  
いなかった。二度と起きないようにチェック体制を再編成した。

液体燃料硫黄分

夏期 0.6% 冬期 0.4%

燃料規制のため、季節で硫黄分  
の異なる燃料を使用している  
ときは記入してください

図1 封筒添付ラベル(例)

〒060-8611	
札幌市中央区北1条西2丁目	
工場	
ばい煙発生施設担当者様	
事業所番号	5432
対象施設数	3

図2 対象施設確認フロー

